

■ 検診の種類・内容等・自己負担金一覧表

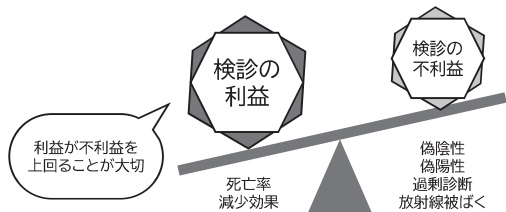
*対象となる検診は、年齢・受診歴により異なります。受診券でご確認ください。

検診の種類	検査方法	検査内容	対象年齢 (令和9年3月31日時点) 受診間隔	国が受診を特に推奨する対象者の年齢等	自己負担金(円) ()内は一部免除者	
	国が推奨する検査				個別検診	集団検診
胃がん <small>*50歳以上の人は、どちらかを選択。 *内視鏡検査を受診した翌年は、対象となりません。</small>	内視鏡検査 (胃カメラ) ※1	小型カメラを装着した細い管を口または鼻から挿入し、胃の中を観察します	50歳以上 2年に1回	50~69歳 2年に1回 ただしX線検査については当分の間 40~69歳 年1回 受診しても差し支えない	5,000 (1,600)	3,200 (1,000) 施設検診のみ
	X線検査 (バリウム) ※1	造影剤と胃を膨らませる発泡剤を飲んで、レントゲン撮影を行います	40歳以上 年1回		3,600 (1,200)	1,200 (700)
肺がん <small>*65歳以上の人は、肺がん検診または結核検診のどちらかを選択。</small>	X線検査 ※1	胸部のレントゲン撮影を行います	40歳以上 年1回	40~69歳 年1回	900 (300)	800 (200)
大腸がん	免疫便潜血検査 2日法	提出した2日分の便に混じった血液の有無を調べます *1日分のみでは、検診の対象となりません。	40歳以上 年1回	40~69歳 年1回	1,200 (500)	800 (400)
子宮がん <small>*無料クーポン券対象者は、頸部がん検査のみ。</small>	頸部がん検査	子宮入り口の細胞を専用のブラシなどで採取し、がん細胞の有無を調べます	20歳以上の女性 2年に1回	20~69歳 2年に1回	2,100 (700)	1,200 (700)
	(問診の結果等が必要な人のみ) 頸部及び 体部がん検査				3,200 (1,100)	実施していません
乳がん <small>*40~59歳の方は、どちらかを選択。 *無料クーポン券対象者は、X線検査のみ。</small>	X線検査 (マンモグラフィ) ※1	乳房をはさんでレントゲン撮影を行います	40歳以上の女性 2年に1回	40~69歳 2年に1回	2,400 (800)	1,700 (800)
	超音波検査 (エコー)	乳房に超音波をあて、その反射で内部の様子を調べます	・30~39歳の女性 年1回 ※2 ・40~59歳の女性 2年に1回 ※2		2,100 (700)	1,800 (900)
前立腺がん	血液検査 前立腺特異抗原(PSA)値測定検査	採血によりPSA(前立腺特異抗原)の濃度を調べます	55・60・65・70・75歳の男性 ※2		1,500 (500)	1,100 (600)
肝炎ウイルス	血液検査 肝炎ウイルス検査 (B型肝炎・C型肝炎抗体検査)	採血によりHBs抗原・HCV抗体の有無を調べます	・40歳 ・41歳以上で過去に津市肝炎ウイルス検診を受診していない人		1,400 (400)	900 (300)
健康診査 (39歳以下)	問診、身体計測(身長・体重・腹囲)、診察(腹部触診を含む)、血圧測定、尿検査、血液検査(脂質・肝機能・糖代謝・腎機能・尿酸・貧血)、心電図検査		19~39歳 ※2 年1回		実施していません	1,800 (600)
結核 <small>*感染症法に基づく法定検診 *65歳以上の人は、結核検診または肺がん検診のどちらかを選択。</small>	X線検査 (地域巡回検診のみ)	胸部のレントゲン撮影を行います	65歳以上 年1回		実施していません	無料

※1 判定の精度を高めるために2人以上の医師で読影をしています。 ※2 津市の設定する対象者です。

■ 津市がん検診の目的

がんを早期発見し、適切な治療を行うことでがんによる死亡を減少させることを目的としています。
国が受診を特に推奨する対象者の年齢等は、検診による利益が不利益を上回り、不利益が最小になるよう考慮して決められています。



■ 自己負担金免除対象者と証明書類

*証明書類は受診時に提出してください。受診後の提出では、自己負担金の返金はできません。
*全額免除の証明書類の写しは、検診の受診ごとに必要です。

区分	対象者	証明書類
一部免除	津市国民健康保険被保険者	■ 津市国民健康保険被保険者であることが確認できるもの 次の(1)または(2)のどちらかの証明書類 (1)「健康保険証の利用登録をしたマイナンバーカード」と「資格情報のお知らせ」 <small>*「資格情報のお知らせ」がない場合は、マイナ保険証を医療機関備え付けのカードリーダーで読み取る方法でも確認できます。</small> (2)「資格確認書」
	75歳以上の人	■ 受診券
全額免除	非課税世帯の人	■ 次の(1)または(2)のどちらかの証明書類(写しても可) (1) ①「住民票の写し」(世帯全員分:一人世帯の人も必要)と ② 年税額が0円と記載のある「令和8年度市民税・県民税所得課税証明書」 <small>*住民票に記載のある人全員分が必要(ただし、平成23年4月2日以降生まれの人は不要)です。 *令和8年1月2日以降に市外から転入した場合は、令和8年1月1日時点で住民登録のあった市区町村が発行する所得課税証明書等(年税額が0円と記載のあるもの)が必要です。</small> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ①、②を本庁市民課、各総合支所市民課または市民福祉課の窓口で申請する際に用意するもの ・申請書(窓口の備え付け、または市ウェブサイトからダウンロード) ・窓口へ来た人の本人確認書類(マイナンバーカード、運転免許証等) ・手数料 ・委任状【代理の場合】(市ウェブサイトからダウンロード) </div> (2)「令和8年度津市がん検診等自己負担金免除証明書」《無料》 この証明書の発行には、受診する日の3週間前までに「申請書」の提出が必要です。 【申請期間】6月1日(月)~令和9年3月10日(水) 【申請方法等】健康づくり課・保健センター窓口、郵送、オンライン (申請には、申請者の本人確認書類が必要) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">津市がん検診等自己負担金免除オンライン申請</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 10px;">検索</div> <small>*令和8年1月1日時点で世帯全員が津市に住民登録がある場合に申請できます。 *令和7年中に非課税収入のみ、または所得がなかった人は市民税・県民税申告が必要な場合があります。本庁市民税課、各総合支所市民課または市民福祉課の窓口で本人確認書類を持参し、申告してください。</small>
	生活保護受給世帯の人	■ 被保護証明書(最新のもの、写しても可)

《個人情報の取扱い》

個人情報は、個人情報の保護に関する法律第69条の規定に基づき、適切に取り扱います。
がん検診等受診者の個人情報(住所、氏名、生年月日、電話番号、問診・検査データ等)については、保健指導や適切な精度管理を行うことを目的に取得し、利用します。この利用目的の範囲内において、検診事業者または津市から受診者にご連絡をさせていただく場合があります。
このことに同意いただいた場合に受診してください。受診された場合は、この同意があったものとして取り扱わせていただきます。受診者から取得した個人情報は、津市個人情報保護条例等に基づき適切に管理し、利用目的の範囲を超えて使用することはありません。

問い合わせ先 津市 健康づくり課(059)229-3310 または保健センター

中央保健センター	久居保健センター	河荻保健センター	荻濃保健センター	美里保健センター	安濃保健センター	香良洲保健センター	一志保健センター	白山保健センター	美杉保健センター
229-3164	255-8864	245-1212	266-2520	279-8128	268-5800	292-4183	295-0112	262-7294	272-8089

この案内に掲載の内容は、急遽、変更または中止となる場合があります。最新の情報は、市ウェブサイトをご確認ください。